

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業			担当部局庁	総合教育政策局	作成責任者	
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	生涯学習推進課	生涯学習推進課長 神山 弘	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	日本再興戦略改訂2015(平成27年6月30日閣議決定) ニッポン一億総活躍プラン(平成28年6月2日閣議決定) 一億総活躍社会の構築に向けた提言(平成29年5月10日自由民主党一億総活躍本部) 働き方改革実行計画(平成29年3月28日働き方改革実現会議決定) 「まち・ひと・しごと創生総合戦略(2016改訂版)」(平成28年12月22日閣議決定) 第3期教育振興基本計画(平成30年6月15日閣議決定)		
主要政策・施策				主要経費	文教及び科学振興		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	産業の高度化やグローバル化の進展の中で、職業はより専門化し、職業人として専門的な知識・技能が求められるようになっていくことが予想され、地域産業を担い、実践的に活躍し、あるいは我が国の産業を牽引していく人材を各分野において養成するための職業教育の充実がますます重要なものになってくる。これを踏まえ、専修学校が担っている実践的な職業教育の魅力発信力を強化することで、職業教育への理解を促進し、職業接続を含めた幅広い視野からの進路選択をできる流れを構築する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	専修学校が担う職業教育に関する理解を促進するため、中学校・高等学校における進路指導や、専修学校と企業等との連携など、ターゲットを意識した効果的な情報集約・情報発信のあり方について、各関係者や有識者等で構成する検討会議において議論を行い、情報発信戦略等を取りまとめるとともに、本戦略等を踏まえた効果的な情報発信手法を検討・実践する。						
実施方法	委託・請負						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
		補正予算	52.2	52.1	41.9	37.7	37.7
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		計	52.2	52.1	41.9	37.7	37.7
	執行額	36.6	37.8	36.2			
	執行率(%)	70%	73%	86%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	70%	73%	86%			
	令和4・5年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由		
教育政策推進事業委託費		36.6	36.6				
委員等旅費		0.6	0.4				
職員旅費		0.3	0.3				
諸謝金		0.1	0.1				
庁費		0.1	0.3				
計		37.7	37.7				
活動内容 (アクティビティ)	主に中高生を対象に、中高生が専修学校を認知し、興味を持ち、進路選択の検討につなげるため、専修学校の魅力発信することを目的とした広報サイト「知る専」の運営を行う。当該サイトでは、各専修学校が制作した特色ある教育活動や卒業生から見た仕事の面白さなどに関する動画・記事の掲載等を行う。						

活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	専修学校の認知度向上を図り、専修学校が担う職業教育への理解を促進することで、職業接続も含めた幅広い視野からの進路選択を実現する。	効果的な情報集約・情報発信のあり方について検討を行い、検討結果を踏まえた実践を行った件数(採択件数)		活動実績	件	2	2	2	-
		当初見込み	件	5	5	2	1	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	委託費執行額/採択事案件数		単当たりコスト 千円	17,914	18,908	17,603	36,553		
		計算式	千円/件	35,827/2	37,816/2	35,206/2	36,553/1		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度	
	当委託事業で作成したホームページ「知る専」の閲覧したユーザー数を前年度の倍にする	当委託事業で作成したホームページ「知る専」を閲覧したユーザー数	成果実績	件	-	6,516	27,815	-	27,815
			目標値	件	-	-	13,032	-	13,032
			達成度	%	-	-	213.4	-	213.4
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		文科省調べ							
政策評価、新経済・新産業の関与	政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進							
	施策	1-4 生涯を通じた学習機会の拡大	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_1-4.pdf					
			該当箇所	施策目標1-4-4					
	取組事項	分野:	-	-					
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-						
	該当箇所	-							
事業所管部局による点検・改善									
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	本事業は、職業教育の理解を促進し、職業接続を含めた幅広い視野からの進路選択を実現できる流れを構築するための事業であり、高等教育機関への進学後や就職後等のミスマッチをなくしていくという社会のニーズを反映している。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	本事業は、全国に取組を拡大していくためにモデルを普及していく事業であるため、地方や民間が個別に行うものではなく、国が総合的に推進していく必要がある。				
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	本事業は、専修学校が担う職業教育を実際に体感する経験を通じて、職業教育への理解を促進するものであり、多様な学習ニーズに応えるための学習機会の充実という達成目標を実現する主要な事業である。					

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先の選定に当たっては、初年次に複数者による企画競争を行い、外部有識者による審査を実施しているため、支出先の選定方法は妥当である。 なお、本事業は複数年計画での実施を見込んだ事業であり、2年目以降の契約については、公募要領に定めたとおり、過年度の事業実績及び次年度の事業計画を基に審査を行い、事業の継続の可否を判断したうえで、引き続き委託契約することとしたものである。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	必要に応じて受益者に負担を求めるよう委託要項等に定めるなどにより、受益者との負担関係が妥当なものとなるよう努めている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	委託要項等において、事業経費の効率的な執行、委託費の使途の明確化等について定め、単位当たりのコスト削減に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	委託要項等において、委託費の使途を明確化するとともに、受託団体が執行時に必要な証拠書類を定めることにより、事業経費が合理的なものになるよう努めている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費目・使途は審査委員会の謝金、委託経費等、真に必要な経費に限定されている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	適切な審査を行うとともに、採択した事業については、契約後も執行状況の中間的な審査や進捗状況に係るヒアリング等を実施し委託先に対して効率的な執行を求めたことなどにより不用が生じたものである。	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	執行状況の中間的な審査や進捗状況に係るヒアリング等を実施して、全ての受託団体に対して適切な経費の執行を指示し、効率化に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	本事業は、採択事業数が少なく、現時点での成果実績の把握が困難なため、現時点では成果目標に見合ったものかどうかの判断はできない。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	本事業は、職業教育への理解を促進し、幅広い視野からの進路選択の実現が見込まれる事業であり、他の手段・方法等と比較して、より効果的な事業である。また、受託先とは執行状況の中間的な審査や進捗状況に係るヒアリング等を実施して、受託団体に対して適切な経費の執行を指示し、効率化に努めている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	令和3年度は、当初の見込どおりの採択件数を確保することができた。採択した事業については、個別にヒアリングを重ね、進捗状況を共有しながら事業を進めたため、当初の事業計画に沿って進捗したものになっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果物は教育関係機関をはじめ広く一般にも活用できるよう、関係機関等への配布やホームページでの公表を行い、活用を図っている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	本事業は、専修学校が担っている実践的な職業教育を題材として、社会における職業教育への理解を促進し、職業接続を含めた幅広い視野からの進路選択をできる流れを構築するものであり、社会のニーズを反映したものである。事業を実施するにあたって、執行状況の中間的な審査や個別にヒアリングを行うなど事業の進捗等を把握することで、事業経費の効率的かつ適切な執行に努めている。	
	改善の方向性	適正な契約手続きを行うとともに、事業経費の効率的な執行を図り、且つ効果的な事業成果が得られるよう努める。また、過年度の成果については広く活用されるように積極的に情報発信していくよう努める。	

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

の事業
改善
部内
改
容

本事業は、経年の決算状況を踏まえて業務の見直しをしている事業と認められる。引き続きコストの検証・見直しを継続しながら事業を遂行すべきである。
なお、随意契約(企画競争)により一者応札となっている契約については競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保するべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行
善
等
改

コスト削減については委託先に対してより効果的・経済的な執行を求めることにより、引き続きコスト削減に努めていく。
なお、令和3年度において一者応札となったメニューについては、一定の成果が得られたため令和3年度限りで終了となっているが、所見を踏まえ、他のメニューにおいても引き続き、公募期間の十分な確保及び公募情報の周知等を行い、契約の競争性、公平性、透明性の確保に努める。

備考

下記のリンクに「専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業」の成果物を掲載している。
https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/1280784.htm

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	-			
平成28年度	-			
平成29年度	新30-0001			
平成30年度	新30-0001			
令和元年度	文部科学省 - 0033			
令和2年度	文部科学省 0027			
令和3年度	2021 文科 20 0026			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省
36.2百万円

※本省執行分
①諸謝金 0.1百万円
②職員旅費 0.3百万円
③委員等旅費 0.6百万円
④庁費 0.1百万円
を含む。

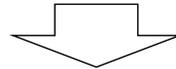
審査委員会を設置し、委託先の選定及び事業成果の評価等を行う



委託【随意契約(その他)】

A. 株式会社三菱総合研究所
32.9百万円

専修学校が担う職業教育に関する理解を促進するための情報集約・発信の在り方・手法についての検討・検証



委託【随意契約(企画競争)】

B. 学校法人片柳学園 日本工学院専門学校
2.3百万円

情報発信手法の一つとして、各地域特性別に専修学校と各教育機関等が連携した「職業体感型教育」等を実施した際の効果や連携に当たっての留意点を整理する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.株式会社三菱総合研究所			B.学校法人片柳学園 日本工学院専門学校		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員給与等	19.9	雑役務費	動画制作費、印刷費	1.5
雑役務費	調査研究補助業務、ウェブサイト改修支援業務等	9.1	借損料	電子機材等借上げ	0.4
その他	諸謝金、旅費等	3.9	その他	諸謝金、旅費等	0.4
計		32.9	計		2.3

